

令和元年度 事業報告

自 平成31年4月 1日

至 令和 2年3月31日

平成から令和の時代が変わり、新時代の幕開けと大いに期待しながら我々全瓦連と致しまして事業を進めて参りましたが、本年度も関東地方、特に千葉県を中心とした近隣県に台風が上陸・通過し、多数の災害が発生致しました。被害に遭われた方々には改めて御見舞を申し上げる次第です。全瓦連でも緊急に被害の状況確認として、千葉県南部を中心に調査に入り、被害状況を大まかに纏め、各省庁関係に報告書として提出させて頂きました。改めて、災害に関する意識が高まり、今後の対策として必要事項のひとつとしてガイドラインによる瓦屋根標準設計・施工の実施を強く求められるところであり、リフォーム工事におかれても同様以上の施工が望まれるところであります。

また、令和2年1月頃より新型コロナウイルス感染における社会状況を一転させる状況であり、世界的に拡散しており我が国ばかりでなく世界の経済活動を停止せざる状況となり、益々、我々業界にも今後大きな影響が更に有るのではないかと危惧するところであります。

その様な状況下ではありますが、我々全瓦連と致しまして、可能な限り執行部を始めとし、四委員会の事業活動を進めて参りました。

主なる事業報告事項

◆四役会議及び総務委員会

- ・令和元年度・各関係団体との連携会議及び交流
- ・国土交通省・建設分野に係る試験実施等の検討活動
- ・瓦屋根工事技士及び診断士の試験及び講習会等の活動
- ・千葉県台風被害調査活動
- ・その他・各団体との継続会議参画及び全瓦連団体として必要事業参加

◆指導委員会

- ・陳情書活動のあらましとして、必要性和再活動の促進活動
- ・全瓦連傘下、会員対象のコンプライアンスセミナー参加増員の為の企画の再検討協議
- ・自然災害による被災事例及び報告書からの有効活用の取り組み

◆技術委員会

- ・「ウォールスタット」チラシ作成・配布及び活用活動
- ・技術等の提案書作成について

◆PR委員会

- ・委員会委員の自覚として積極的な行動と活性化を図る要望
- ・PR大賞の選定
- ・屋根の日グッズの有効性及び購買促進
- ・ガイドライン工法の各称変更（一般に解り易い様に瓦ガイドライン工法に変更）
- ・ユネスコ無形文化遺産登録に向けて更なる活動支援（ロビー活動及び政治活動）
- ・「日本人なら瓦屋根」内容改訂について検討活動

◆技術委員会

- ・安全対策用教材「ヒヤリハットから学ぶ安全対策」冊子の一部追記
- ・安全カレンダーの作成と購買促進活動
- ・熱中症対策の注意喚起文の配信活動
- ・案件事項として「福利厚生費の他に安全対策費として見積項目加入検討協議」